

# 「写真の町」情報館

INFORMATION

## 写真甲子園での思いを再び東川町で・・・

写真甲子園での思いを再び東川町で・・・

写真甲子園2000に広島県より出場した三木嘉子さんが、10月18日より東川町役場にインターンシップ(企業体験)で再び来町されています。



三木さんは、広島県立三和高等学校出身で写真甲子園では優秀賞を受賞した経歴を持ち、現在は日本大学の4年生、生産工学部建築工学科居住空間デザインコースで建築の勉強をしています。

今回は、写真甲子園で思い入れのある東川町をテーマに卒業研究を進めたいと言う思いから、再び東川町での活動が実現しました。

建築の目線から東川町の活性化をテーマに研究を進めながら、庁内の会議等にも参加するなどして、町の仕事にふれていただきます。

滞在は、11月中旬までの予定です。

## 写真甲子園記念文集完成

写真甲子園2004の記念文集が完成しました。本戦大会に出場した選手の声を集めて編集したもので、今回その一部の内容を抜粋して掲載します。

\*

写真甲子園は、私にとって初めての大きな大会でありました。

予選の写真を撮ったとき、私は写真を始めてまだ3カ月にも満たない状況で、コンパクトカメラを使うのがやっとでした。そんな私に写真を始めるきっかけをくれたのが、「子供の笑顔」でした。小さい頃の写真を見ていた時に会った1枚の写真から純粋に笑う子供の写真が撮りたいと思うようになりました。

予選の作品を撮りに公園に行ったとき、偶然出会ったたくさんの子供たちの笑顔が私にシャッターを押させ、今回北海道の地に立たせてくれました。技術で足りない部分を彼らの笑顔が補ってくれたのだと思っています。

本戦で一番ビックリしたのは大会のレベルの高さ。初めは“なんとかなるさ!!”と聞いていたのですが、とんでもない!!見るもの触れるもの全てが発見の連続で、周りの学校はどんどん撮っている

のに何を撮っていいのかわからない。しかも他校とは違うものを撮らなければいけない。そうやって焦って空回り。結局First審査会で半ベそをかく羽目になり自分の身の程を知らされました。しかし、途中から何も知識のない私だからこそ撮れる写真だってあると思い、自分の好きなものを無理せず撮っていこうと決めました。その甲斐あって、後半は納得の行く写真を撮ることができました。結果は特別賞でしたが悔いはなく、むしろこれで良かったと思います。この経験が私の次の写真に繋がっていくものになったのですから。

皆さんと過ごした6日間、とっても楽しかったです!これからうんと実力をつけ来年も出場して、今度はマグレで来たとは言わせないと心に誓い、北海道の地を後にしました。私はこの大会が大好きです。それは、家族のような温かさを感じるからかも知れません。他校の皆さん・私たちのお世話をして下さった皆さん・審査員の皆さん撮影に協力して下さいました皆さん、そして東川町の皆さんありがとうございました。

写真甲子園大好き!東川町大好き!北海道だ~い好き!! 聖霊高等学校 1年 西谷 英里

## 「デジカメで見る韓国の遊び文化」発行

8月18日から22日まで、東川高等学校の生徒13名および引率教員



他3名が、日韓国交正常化40周年記念事業として韓国に招待され、交流してきた内容についてまとめた文集「デジカメで

見る韓国の遊び文化」が、東川高校により発刊されました。

これは、5日間の韓国滞在中に体験したこと、思ったこと、感じたことなど、高校生の言葉で素直に書かれています。また、引率した教員・随行員の文章も含み手書きの文章で104頁になっています。

表紙をめくると、4ページからなる記録写真が目に入り、韓国での体験や交流の様子を見る事ができ、その後参加生徒たちの文章が続きます。

ご覧になりたい方は、役場特別対策室までお問合せください。